

「京都観光振興計画 2025」指標及び目標値等について
計画期間：令和3年度(2021)～令和7年度(2025)

No	指標 ★ 政策評価における指標	● 重点 指標	調査項目	H27～R1 (コロナ禍前) 最高値 最低値	R2～R4 (コロナ禍) 最高値 最低値	目標値	調査方法	調査 開始 時期	目標値設定の考え方等	
1 市民生活と観光の調和が図られ、市民が豊かさを実感できる。										
1	市民生活への 観光の影響	混雑 (公共交通) ★	●	自ら経験した割合 (路線バスや地下鉄の混雑)	調査未実施	58.3% (R4)	58.3%	市民意識調査	R2	【H27以降の最低値】 (ただしR2以降調査実施)
2		混雑 (観光地) ★	●	自ら経験した割合 (観光地及びその周辺の混雑)	調査未実施	60.4% (R4)	60.4%		R2	
3		混雑 (道路) ★	●	自ら経験した割合 (道路が渋滞)	調査未実施	61.9% (R4)	61.9%		R2	
4		マナー★	●	自ら経験した割合 (マナー違反による迷惑)	調査未実施	38.5% (R4)	38.5%		R2	
5		宿泊施設★	●	自ら経験した割合 (騒音・ごみ・車両の出入り等)	調査未実施	16.9% (R4)	16.9%		R2	
6		観光の重要度	●	京都の発展に観光が重要な役割を 果たしていると思う方の割合	調査未実施	74.5% (R3)	74.5%		R2	【H27以降の最高値】 (ただしR2以降調査実施)
7		給料増		自ら経験した割合 (売上増による給料増)	調査未実施	12.2% (R2)	—		R2	—
8		買物環境向上		自ら経験した割合 (新規出店増に よる買物環境向上)	調査未実施	19.6% (R3)	—		R2	—
9		生活環境向上		自ら経験した割合 (まちに活気, 生活環境向上)	調査未実施	25.0% (R3)	—		R2	—
10		交流促進		自ら経験した割合 (観光客との交流促進)	調査未実施	11.1% (R2)	—		R2	—
11		利便性向上		自ら経験した割合 (公共交通機関が発達)	調査未実施	23.2% (R2)	—		R2	—
12		シビックプライド		京都市が観光で評価されることを 誇りに思う方の割合	調査未実施	68.1% (R3)	—		R2	—
13	3つの分散化	時期		月別繁閑差	1.3倍 (R1)	調査未実施	—	観光客調査	H27 以前	—
14		時間		朝観光 日本人訪問時間 (6～9時)	14.1% (R1)	19.1% (R2)	—		H30	—
15				夜観光 日本人訪問時間 (18時～深夜)	18.1% (H30)	19.1% (R2)	—		H30	—
16		場所	●	日本人訪問地割合 (「とっておきの京都」プロジェ クトエリア)	13.9% (H27)	18.5% (R2)	18.5% 【暫定目標】		H27 以前	【R2以降の最高値】 コロナ禍の影響で特に状況が激変する可能性が あるため暫定目標として設定。
17		場所		日本人訪問地割合 (伏見)	15.8% (H29)	19.8% (R2)	—		H27 以前	—
18				日本人訪問地割合 (山科)	3.3% (H29)	2.4% (R2)	—		H27 以前	—
19				日本人訪問地割合 (大原・八瀬)	4.3% (H27)	5.7% (R3)	—		H27 以前	—
20				日本人訪問地割合 (高雄)	3.3% (H27)	5.6% (R3)	—		H27 以前	—
21				日本人訪問地割合 (京北)	0.3% (R1)	0.6% (R2)	—		R1	—
22				日本人訪問地割合 (大枝・大原野)	0.2% (R1)	0.5% (R2)	—		H27 以前	—

No	指標 ★ 政策評価における指標		● 重点 指標	調査項目	H27～R1 (コロナ禍前) 最高値 最低値	R2～R4 (コロナ禍) 最高値 最低値	目標値	調査方法	調査 開始 時期	目標値設定の考え方等
23	観光による 地域への貢献	地域調和	●	「地域との調和」につながる行動を積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	59.9% (R4)	59.9%	事業者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
24		公共交通への貢献		日本人 観光消費額単価（全体） 市内交通費	2,091円 (R1)	調査未実施	—	観光客調査	H27 以前	—
25				外国人 観光消費額単価（全体） 市内交通費	4,394円 (H30)	調査未実施	—		H28	—
—				自ら経験した割合 (公共交通機関が発達)（再掲）	調査未実施	23.2% (R2)	—	市民意識調査	R2	—
26		文化の 維持・継承		日本人 観光消費額単価（全体） 入場料・拝観料	1,450円 (R1)	調査未実施	—	観光客調査	H27 以前	—
27				外国人 観光消費額単価（全体） 入場料・拝観料	2,476円 (H30)	調査未実施	—		H28	—
28				日本人 文化体験 文化体験をした方の割合	43.5% (H30)	47.1% (R2)	—		H28	—
29				地域の町内会や祭り、イベント等へ積極的に参画している事業者の割合	調査未実施	32.7% (R4)	—	事業者調査	R3	—
30			●	事業活動が京都の文化の維持継承等に寄与してきたと思う事業者の割合	調査未実施	81.3% (R4)	81.3%		R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
31				文化や伝統を将来に引き継ぐ取組を行っている方の割合	調査未実施	55.9% (R3)	—	市民意識調査	R3	—
32	観光による 地域への貢献	地産地消		日本人 飲食・買物時の京都産選択割合	調査未実施	73.0% (R3)	—	観光客調査	R3	—
33				地元産品・工芸品を利用した商品・サービスを積極的に開発している事業者の割合	調査未実施	31.9% (R4)	—	事業者調査	R3	—
34	市民による観光	実施状況		京都市民の京都市内観光の頻度 半年に1回以上	調査未実施	42.8% (R2)	—	市民意識調査	R2	—
35		満足度 ★	●	京都市民の京都市内観光時の満足度	調査未実施	64.3% (R3)	64.3%		R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)

2 あらゆる主体が京都の「光」を磨き上げ、観光の質を高める。										
36	観光消費額単価	●	日本人 観光消費額単価（全体）★	20,931円 (H30)	調査未実施	20,931円	観光客調査	H27 以前	【H27以降の最高値】	
37			日本人 観光消費額単価（日帰り）	11,054円 (R1)	10,898円 (R3)	—		H27 以前	—	
38			日本人 観光消費額単価（宿泊）	54,970円 (R1)	57,175円 (R3)	—		H27 以前	—	
39		●	外国人 観光消費額単価（全体）★	46,294円 (H30)	調査未実施	46,294円		H28	【H27以降の最高値】 (ただしH28以降調査実施)	
40			外国人 観光消費額単価（日帰り）	23,798円 (H30)	調査未実施	—		H28	—	
41			外国人 観光消費額単価（宿泊）	64,004円 (H30)	調査未実施	—		H28	—	
42	文化・文化財と経済の関係		日本人 文化や文化財の維持・継承に貢献したい方の割合	調査未実施	40.5% (R3)	—	観光客調査	R3	—	
43			観光消費額 入場料・拝観料，文化体験費用	835億円 (H30)	調査未実施	—		H27 以前	—	

No	指標 ★ 政策評価における指標	● 重点 指標	調査項目	H27～R1 (コロナ禍前) 最高値 最低値	R2～R4 (コロナ禍) 最高値 最低値	目標値	調査方法	調査 開始 時期	目標値設定の考え方等
44	残念なことがあった割合		日本人 残念なことがあった方の割合	43.9% (H28)	40.9% (R3)	—	観光客調査	H27 以前	—
45			外国人 残念なことがあった方の割合	15.6% (H29)	調査未実施	—		H27 以前	—
46	京都観光の総合満足度		日本人 大変満足された方の割合	23.5% (H29)	29.2% (R2)	—	観光客調査	H27 以前	—
47			外国人 大変満足された方の割合	44.6% (H27)	調査未実施	—		H27 以前	—
48	感動したことがあった割合		日本人 感動したことがあった方の割合	75.0% (R1)	83.6% (R2)	—	観光客調査	H27 以前	—
49			外国人 感動したことがあった方の割合	80.8% (H28)	調査未実施	—		H27 以前	—
50	おもてなしを感じた割合		日本人 おもてなしを感じた方の割合	52.9% (R1)	58.1% (R2)	—	観光客調査	H27 以前	—
51			外国人 おもてなしを感じた方の割合	92.6% (H27)	調査未実施	—		H27 以前	—
52	観光客におけるデジタル化の推進 状況		日本人 事前情報源にSNSや動画サ イト等を利用した方の割合	調査未実施	61.4% (R3)	—	観光客調査	R2	—
53			日本人 到着後情報源にSNSや動画 サイト等を利用した方の割合	調査未実施	58.0% (R2)	—		R2	—
54	リピーター関連	●	日本人 リピーター率 ★ 訪問回数10回以上	62.0% (H27)	58.1% (R3)	62.0%	観光客調査	H27 以前	【H27以降の最高値】
55		●	外国人観光客 リピーター率 ★ 訪問回数2回以上	22.4% (R1)	調査未実施	22.4%		H27 以前	
56			日本人 入浴時に度々訪問する箇所 がある方の割合	調査未実施	77.1% (R3)	—		R3	—
57			友人等に京都観光をおすすめし たい方の割合	調査未実施	69.7% (R3)	—	市民意識調査	R3	—
58	宿泊率 ★	●	全体	24.6% (R1)	調査未実施	24.6%	観光客調査	R1	【H27以降の最高値】 (ただし、統計手法の変更により R1以降の数値が対象)
59			日本人観光客	21.0% (R1)	調査未実施	—		R1	—
60			外国人観光客	42.9% (R1)	調査未実施	—		R1	—
61	平均宿泊日数 ★	●	全体	1.61泊 (H30)	1.46泊 (R2)	1.61泊	観光客調査	H28	【H27以降の最高値】 (ただしH28以降調査実施)
62			日本人観光客	1.43泊 (H29)	1.40泊 (R3)	—		H28	—
63			外国人観光客	2.18泊 (R1)	2.27泊 (R3)	—		H28	—

3 観光の担い手がより活躍し、観光・文化分野での起業・新事業創出が盛んになり、都市の活力向上や文化の継承に寄与する。									
64	観光事業者における正規雇用率		正規雇用率	調査未実施	59.4% (R4)	—	事業者調査	R3	—
65	観光事業従事者の満足度	●	総合満足度	調査未実施	65.9% (R4)	65.9%	従事者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
—	時期の分散化（再掲） （＝年間を通じて繁閑差がなく働 く機会がある環境）		月別繁閑差	1.3倍 (R1)	調査未実施	—	観光客調査	H27 以前	—
66	商品・サービスの売価が上昇した 観光事業者の割合		主力商品・サービスの売価につい て、変化があった（かなり上がっ た、上がった）事業者の割合	調査未実施	59.1% (R4)	—	事業者調査	R3	—

No	指標 ★ 政策評価における指標	● 重点 指標	調査項目	H27～R1 (コロナ禍前)	R2～R4 (コロナ禍)	目標値	調査方法	調査 開始 時期	目標値設定の考え方等
				最高値 最低値	最高値 最低値				
67	担い手の育成に取り組んでいる事業者の割合	●	従業員の能力開発のために、可能な限り研修の機会を設けている事業者の割合	調査未実施	73.8% (R3)	73.8%	事業者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
—	地域貢献に取り組む観光事業者の割合(再掲)	(●)	「地域との調和」につながる行動を積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	59.9% (R4)	59.9%	事業者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
—	文化の継承に取り組む事業者の割合(再掲)	(●)	事業活動が京都の文化の維持継承等に寄与してきたと思う事業者の割合	調査未実施	81.3% (R4)	81.3%	事業者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
68	観光事業者におけるデジタル化の推進状況 ★	●	デジタル技術の推進につながる行動に積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	65.3% (R4)	65.3%	事業者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)

4 感染症や災害などの様々な危機に対応できる、しなやかで力強く、安心・安全で環境に配慮した持続可能な観光を実現させる。

69	BCPなど危機管理に関する計画を策定している観光事業者の割合 ★	●	感染症や災害などの様々な危機に対応するためのBCP(事業継続計画)の策定に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	62.5% (R4)	62.5%	事業者調査	R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
70	観光事業者における防災・防火訓練等の実施状況		従業員に参加義務のある防災・防火訓練を積極的に実施している事業者の割合	調査未実施	24.4% (R4)	—	事業者調査	R3	—
71	公共交通利用割合(入洛時) ★	●	日本人 入洛利用交通機関(鉄道・バス)利用割合	93.7% (H27)	86.9% (R2)	93.7%	観光客調査	H27以前	【H27以降の最高値】
72	環境に配慮した取組の実施状況(観光客、観光事業者)		日本人 意識的に環境に配慮した行動をされた方の割合	調査未実施	89.0% (R3)	—	事業者調査	R3	—
73		●	「景観・環境」につながる行動を、1つ以上の項目で積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	57.1% (R3)	57.1%		R3	【H27以降の最高値】 (ただしR3以降調査実施)
74			環境に配慮した製品を積極的に利用している事業者の割合	調査未実施	19.0% (R4)	—		R3	—
75			プラスチックの排出量の削減に積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	18.3% (R4)	—		R3	—
76			フードロスの低減に積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	22.5% (R3)	—		R3	—
77			電力や燃料消費量の抑制に積極的に取り組んでいる事業者の割合	調査未実施	22.5% (R4)	—		R3	—
78			環境に関する認証を積極的に取得されている事業者の割合	調査未実施	13.8% (R3)	—		R3	—

5 MICE都市としての魅力を確立し、世界の人々が集い、多様性を認め合い、世界平和に貢献するまちになる。

79	国際会議件数	ICCA基準		ICCA基準(京都市)国際会議開催件数	67件 (R1)	調査未発表	—	ICCA統計	H27以前	—
80		JNTO基準 ★	●	JNTO基準(京都市)国際会議開催件数	383件 (R1)	26件 (R2)	26件 【暫定目標】	国際会議統計	H27以前	【R2以降の最高値】 コロナ禍で状況が激変し、コロナ前後の比較が困難であるため、コロナ禍以降の数値で暫定目標として設定。
81	海外参加者数 ★		●	JNTO基準(京都市)国際会議海外参加者数	32,449人 (H30)	562人 (R2)	562人 【暫定目標】	国際会議統計	H27以前	【R2以降の最高値】 コロナ禍で状況が激変し、コロナ前後の比較が困難であるため、コロナ禍以降の数値で暫定目標として設定。
82	国際会議消費額(経済効果額)			観光庁「MICE開催による経済波及効果測定の為の簡易測定モデル」活用	235億円	調査未実施	—	MICE調査	R1	—
83	国際会議による延べ宿泊客数			JNTO基準(京都市)国際会議延べ宿泊日数	調査未実施	調査未実施	—	MICE調査	—	【代替指標の設定】 ○国際会議による延べ宿泊客数について令和2年以降の数値について、MICE実態調査にて把握する予定であったが、コロナの影響により実施の目処が立たないため、当面、「国際会議平均開催日数」で代替する。
	(代替指標) 国際会議の平均開催日数			JNTO基準(京都市)国際会議国際会議の平均開催日数	2.99日 (R1)	4.67日 (R3)	—	国際会議統計	R1	